

令和6年度米子市美術館協議会

日 時 令和7年2月13日（木）午後1時30分から
ところ 米子市役所第二庁舎 2階第2会議室

日 程

1 開 会

2 挨 拶（会長）

3 議 事

（1）令和6年度米子市美術館事業実施状況について

（2）令和7年度米子市美術館事業計画について

（3）その他

4 その他

5 閉 会

米子市美術館協議会委員名簿

任期 令和5年10月1日から令和7年9月30日まで

区 分	氏 名	備 考
学識経験のある者	三浦 健吾	会長
学識経験のある者	鐘築 直子	職務代理者
学識経験のある者	水田 美世	委 員
学校教育の関係者	堀場 善智	委 員
学校教育の関係者	山根 真奈美	委 員
社会教育の関係者	永江 靖幸	委 員(彫刻)
社会教育の関係者	光木 桂二	委 員(洋画)
社会教育の関係者	佐藤 千秋	委 員(洋画)
社会教育の関係者	仁宮 洋子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	服部 麻知子	委 員(工芸)
社会教育の関係者	松岡 託司	委 員(日本画)
社会教育の関係者	金田 芳子	委 員(書道)
社会教育の関係者	中澤 都志子	委 員(書道)
社会教育の関係者	岩崎 瑞枝	委 員(写真)
社会教育の関係者	長谷川 公夫	委 員(写真)

令和6年度米子市美術館事業報告について(令和6年12月末現在)

[開館日数237日・展示日数200日・総入館者数53,088人]

前年同月実績[開館日数241日・展示日数194日・総入館者数49,065人]

①主催事業

は1月以降実施予定事業

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
管理運営等事業			
展覧会事業			
山陰ビデオシステム設立45年記念企画 / 令和6年度米子市美術館特別共催展 「佐藤健寿展 奇界/世界」 主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館、 山陰ビデオシステム、朝日新聞社 協力: 国立民族学博物館、ピクトロプリント工房、フレームマン 特別協賛: サテライトコミュニケーションズネットワーク 協賛: 中海テレビ放送、日本海テレビ、TSK さんいん中央テレビ 関連事業:	4/7(日) ～5/26(日) 水曜日休館 ※ただし 5/1 (水)・5/8(水) は開館 [45日間]	17,435	これまで世界120ヵ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿。本展では、佐藤健寿の造語をタイトルとして出版され、人気を博した代表作『奇界遺産』をはじめ、過去20年にわたる旅をシンプルな視点で捉えた『世界』、国立民族学博物館所蔵の民族資料、さらに当館展示のために山陰地方で撮り下ろした作品など、200点あまりを一堂に展示。山陰地方初開催の佐藤健寿展。 会場: 第1～4展示室 観覧料: 一般・高大生1,300 円(前売り1,000 円)、中学生以下無料
佐藤健寿によるギャラリーツアー	4/7(日)	(36)	会場: 第1～4展示室 解説: 佐藤健寿氏(本展出品作家)
佐藤健寿「奇界/世界」を語る	5/11(土)	170(※)	会場: 米子市文化ホール イベントホール 解説: 佐藤健寿氏(本展出品作家)
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(68)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
遊ぼうday	会期中 毎週日曜・火曜 ※ただし 4/28 (日)なし	-	創作広場にキッチンカー、きつず縁日、あそびばなどを企画して佐藤健寿の奇界な世界とあわせて飲食ブースや自由に遊べるのコーナーなどを設置し、会期中の来場者および図書館・市役所利用者への誘客に努めた。
第63回 米子市美術展覧会(市展) 主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	6/14(金) ～6/22(土) 会期中無休 [9日間]	1,934	市民から公募した7部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻、デザイン)325点(出品者数304人)を展示。 * 初日開会式にて、米子マンドリンオーケストラ(米子市音楽祭出演団体)による演奏披露、表彰式、審査講評を実施。 会場: 第1～5展示室 観覧料: 無料
おやこでアートじかん	6/17(月)	(0)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
共催展 AIR475 2024 「鎌田友介 あなたはもう思い出せない -You don't remember anymore-」 「白川昌生 出雲神話はアートになる」 主催: AIR475 (エアヨナゴ) 共催: 鳥取県、米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館・米子市立山陰歴史館、 鳥取藝住実行委員会 関連事業:	7/19(金) ～8/4(日) [15日間] 8/9(金) ～8/25(日) [15日間]	750 662	2023年に現代作家として活動する鎌田友介氏と白川昌生氏を招聘し、米子を拠点にリサーチと滞在制作を実施した。本年度はその成果発表として鎌田氏と白川氏の展示を2期に分け、米子市美術館において行った。鎌田氏は解体後の建築に対する忘却現象と、植民地主義、移民政策、戦争などに対する忘却を重ね合わせ、米子の古い日本家屋と日本国外に建設された日本家屋のイメージを重ねる写真、映像、インスタレーションの展示を行なった。白川氏は歴史、風土の深層の中から現在に蘇る出雲信仰を示すために、米子や鳥取で近現代に活躍した人物の歴史を、出雲信仰の視点から記述し、平面作品として展示を行った。 会場: 第3展示室 観覧料: 無料
鎌田友介によるギャラリートーク	7/19(金)	(36)	解説: 鎌田友介氏(本展出品作家)
鎌田友介 失われゆく建築研究所	7/20(土)、 21(日)、 27(土)、 28(日)、 8/3(土)、4(日)	101(※)	作家の調査資料や作品原画、及び学生の調査研究を展示。 会場: 岩倉ふらっと
鎌田友介・白川昌生アーティスト・トーク	7/20(土)	27(※)	解説: 鎌田友介氏、白川昌生氏(本展出品作家) 会場: わだや小路
三田村光土里Art & Breakfast@yonago city museum of art	7/21(日)	34(※)	朝食をしながら、作家と触れ合うパフォーマンス。朝食は実費徴収。 会場: 米子市美術館前広場 協力: フルーツカフェサエキ
五十嵐太郎さんと行く!AIR475まち歩き&トーク	8/3(土)	12(※) 17(※)	建築批評家の五十嵐氏と米子の「失われゆく面白きもの」を探索。同日公会堂にてトークを実施。 解説: 五十嵐太郎氏 会場: 米子市内(まち歩き)、米子市公会堂ホワイエ(トーク)
鎌田友介 失われゆく建築研究所 特別企画 総合探求部「私のまちの商店街 ～米子本通り商店街～」出版記念座談会	8/4(日)	16(※)	米子北斗高等学校総合探求部生徒と鎌田氏との座談会を実施。 会場: 岩倉ふらっと
白川昌生によるギャラリートーク	8/10(土)	(21)	解説: 白川昌生氏(本展出品作家)
白川昌生アーティスト・トーク	8/11(日)	(21)	白川氏による出品作品解説及び美術・社会制度に対する批評や、令和4年度AIR475出品作家の岡田氏によるアーティストインレジデンスの活動報告を行なった。 解説: 鎌田友介氏(本展出品作家)、岡田裕子氏
AIR475まち歩き in 加茂川祭り	8/24(土)	中止	地藏盆をルーツに開催される加茂川祭りを体験しながらまちを歩く。 会場: 米子市内

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
特別企画展 米子の書 -先人と現代 書の祭典- 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 特別協力:米子地区書道連盟 協力:井原装飾、宝林堂、和田翠雲堂 関連事業:	7/21(日) ～8/25(日) [31日間]	2,448	江戸末期、児玉玉立(1794-1861)が米子地域の書活動を流布し、それを受け継ぐ書家たちが、明治、大正、昭和と「米子の書」を発展させてきた。本展は、主に昭和20年以降における先人の米子の書家25人と、現在書活動を行っている書作家63人の作品もあわせて紹介した。「書」の分野に注目したこと、また、あらゆる書体・書風を一堂に展示したことに大変高評価を得た。「米子の書」の次の世代への橋渡しと、さらには発展へと繋ぐきっかけに大いになった。128点と資料を出品。図録発行。 会場:第1・2・4展示室 観覧料:一般500(前売400)円、大学生以下無料
揮毫披露	7/21(日)		揮毫:山田龍香氏(書家・米子地区書道連盟会長) 会場:1階ホール
ギャラリートーク	7/21(日) 8/18(日) 8/25(日)	(130) (75) (36)	解説:米子地区書道連盟会員、青戸貴子館長 会場:第1・2・4展示室
第1回 ワークショップ「書に親しもう!!」はじめての書道-かいてみよう!!	8/8(木)	(22)(※)	講師:米子地区書道連盟会員、青戸貴子館長 会場:米子市児童文化センター多目的室
第1回 ワークショップ「書に親しもう!!」チャレンジ篆刻-方寸の世界-	8/11(日)	(8) (15)	講師:遠藤米子人氏(篆刻家) 会場:第5展示室
第1回 ワークショップ「書に親しもう!!」生活の中の書作品を作ろう!	8/12(月・祝)	(5) (6)	講師:青戸貴子館長、米子地区書道連盟会員 会場:第5展示室
高校生による書道パフォーマンス	7/21(日) 7/28(日) 8/4(日) 8/18(日)	(215) (74) (36) (81)	鳥取県立米子東高等学校書道部 鳥取県立米子西高等学校書道部 鳥取県立米子高等学校書道部 鳥取県立境高等学校書道部 会場:1階ホール
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(12)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
コレクション展Ⅰ 「作品の響き」 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	9/8(日)～ 10/6(日) [25日間]	815	第1弾となるコレクション展では、「作品の響き」をテーマに展示を行なった。律動を想起させる抽象的な作品や、楽器を描いた作品のほか、響きを伴うほどに臨場感ある場面を切り取った作品などを中心に、作品と音の関係性に焦点を当てながら収蔵品の中から38点の紹介を行なった。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円
おしゃべりアートじかん(対話鑑賞会)	9/14(土)	(12)	講師:佐藤真菜氏(鳥取県 地域社会振興部 美術館 専門員) 会場:第2展示室
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	9/21(土) 10/5(土)	(5) (15)	解説:前田優美子学芸員 会場:第2展示室
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(0)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートで、より楽しめる鑑賞を促す準備をした。
共催展 共に生きるアート展 KANSEI 11 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催:米子市 共催:米子市教育委員会、(一財)米子市文化財団 米子市美術館	10月1日(火) ～10月7日(月) [6日間]	803	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品173点を展示。 会場:第4展示室 観覧料:無料
第68回 鳥取県美術展覧会(県展) 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会 共催:米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館	10月12日(土) ～10月20日 (日) 会期中無休 [9日間]	2,268	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品402点を展示。 会場:全館 観覧料:無料 ＊初日、審査員による講評とギャラリートーク(60人参加)を実施

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
コレクション展Ⅱ 「光と影」 主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	10/27(日) ～12/1(日) [31日間]	1,806	視覚的な効果のほか、心象的な表現としても用いられる「光と影」を主題とし、その描写が印象的な作品を、写真・素描・版画・洋画・日本画・彫刻のジャンルごとに選りすぐって展示を行なった。各分野の素材・技法・光の当たり方によって形作られる光と影の表現方法とその魅力を収蔵品37点により紹介した。 会場: 第2展示室 観覧料: 一般330(270)円 *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/16、11/17の3日間 (期間中入場者数: 582人)
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	11/2(土) 11/30(土)	(11) (12)	解説: 前田優美子学芸員 会場: 第2展示室
おしゃべりギャラリートーク	11/9(土)	(6)	解説: 喜多村聡史副館長兼主幹学芸員 会場: 第2展示室
おしゃべりアートじかん(対話鑑賞会)	11/18(月)	(17)	ファシリテーター: 浅田裕子氏(日南町美術館館長) 会場: 第2展示室
おしゃべり鑑賞会(認知症のかたのための鑑賞会)	11/23(土・祝)	(13)	ファシリテーター: 松木孝子氏(アーツアライブ認定 アートトリップ アートコンダクター) 会場: 第2展示室
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(8)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月・金曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
共同企画展 鳥取県アートミュージアム連携協議会 共同企画展 ハチオシ! 主催: 倉吉博物館、鳥取県アートミュージアム連携協議会	7/27(土) ～8/25(日) [27日間]	1,613 (※)	鳥取県内の美術資料収蔵館8館で構成される、鳥取県アートミュージアム連携協議会加盟館の共同企画展。令和7年3月3日の鳥取県立美術館の開館を控えた今夏は、加盟8館(植田正治写真美術館、倉吉博物館、鳥取県立博物館、鳥取民藝美術館、日南町美術館、北栄みらい伝承館、米子市美術館、渡辺美術館)の「イチオシ作品」と「夏」をテーマとし107点を展示。 会場: 倉吉博物館 観覧料: 一般220(160)円、大学・高校生110(50)円 ※()内は20人以上の団体料金 *初日、各館学芸員によるギャラリートーク(20人参加)及び、クレパス技法を体験しよう(11人参加)を実施
特別共催展 MINIATURE LIFE展 2 ～田中達也 見立ての世界～ 主催: 主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社 特別協賛: 山陰酸素グループ 企画制作: (一財) NHK財団、(株) CoCo 企画協力(株) MINIATURE LIFE	2/8(土) ～3/24(月) [45日間]		国内外各地で人気を集めた「MINIATURE LIFE展」がさらにバージョンアップ。日用品とジオラマ用人形を組み合わせ日常にある物を別の物に見立てたアート作品を作り出すミニチュア写真家・見立て作家の田中達也さんの独自の世界感が会場を埋め尽くす。作品とタイトルは思わず笑え、「さすが」と唸るものばかり。本展では写真作品約120点と立体作品約50点を展示し、地元限定作品も登場。遊び心あふれる田中さんの作品は、いずれも写真撮影が可能。 会場: 第1～4展示室 観覧料: 一般1,200(1,000)円、小・中・高・大生500円 ※()内は前売り・15人以上の団体料金 *初日、アーティストトーク及びサイン会を実施

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全5回		
ワークショップ「書に親しもう!!」はじめての書道-かいてみよう!!	8/8(木)	11(※)	米子市美術館館長と米子地区書道連盟会員を講師に書に親しむワークショップ 会場:米子市児童文化センター
ワークショップ「書に親しもう!!」チャレンジ篆刻-方寸の世界-	8/11(日)	(8) (15)	篆刻を作るワークショップ 講師:遠藤米子人氏(篆刻家) 会場:第5展示室
ワークショップ「書に親しもう!!」生活の中の書作品を作ろう	8/12(月・祝)	(5) (6)	Tシャツやハンカチ、色紙などに好きな字を書くワークショップ 会場:第5展示室
アートな散歩 中心市街地を巡る (米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市公会堂連携事業/フレイル予防事業)	10/14(月・祝)	22(※)	米子市の中心市街地にある野外彫刻や建築家・村野藤吾の設計により1958年に山陰随一の文化の殿堂として建設された米子市公会堂などの歴史的建築物を巡った。 集合場所:米子市立山陰歴史館 解説:藤山館長(米子市公会堂)、山本副館長兼主幹学芸員(米子市立山陰歴史館)、喜多村副館長兼主幹学芸員
美術上映会「ディリリとパリの時間旅行」	R7.1/12(日)	40	ベル・エポックの美しいパリで、少女ディリリがピカソ、モネ、ロートレックらと出会い誘拐事件の謎を解いていく冒険譚。 会場:第1展示室 解説:前田優美子学芸員
出前講座	全5回		
米子市の彫刻ロードを歩きましょう	10/6(日)	16(※)	依頼元:パナソニック松愛会 解説:喜多村聡史副館長兼主幹学芸員 場所:米子彫刻ロード
地域の魅力発見! 楽しく歩き楽しく学ぶ米子の彫刻ロード	10/13(日)	13(※)	依頼元:テゴネット(鳥取県西部広域交流ネットワーク) 解説:喜多村聡史副館長兼主幹学芸員 場所:米子彫刻ロード
地域探求ボランティア/米子市彫刻ロード解説	10/18(金)	46(※)	依頼元:米子北高等学校 解説:喜多村聡史副館長兼主幹学芸員 場所:米子彫刻ロード
伯耆文化研究会例会発表	11/9(土)	50(※)	依頼元:伯耆文化研究会 演題:「仏涅槃図を絵解く」 解説:前田優美子学芸員 場所:米子市立図書館多目的研修室
井上コレクション解説	1/18(土)	34(※)	依頼元:米子市観光協会 解説:前田優美子学芸員 場所:山陰伯耆国米子アジア博物館
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏休みこども体験教室 リサイクル工作でランプシェードを作ろう!	8/19(月)	12(※)	会場:米子市淀江文化センター イベントホール 講師:上田輝美氏(米子工業高等専門学校)
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2024	9/16(月・祝)	2,155(※)	米子市文化財団の12施設が集まり、1日限定のワークショップ、工作、ステージイベントなどを展開。美術館ブースでは「ドットアート」ワークショップを実施、134人参加。各施設ブースをめぐるスタンプラリーには133人参加。 会場:米子市公会堂
各種団体等との連携事業	随時	-	鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展として「ハチオシ!」を倉吉博物館で開催。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
米子市文化財団施設連携事業	①8/8(木) ②10/14(月・祝) ③10/17(木) ④特別共催展・特別企画展等会期中	①11(※) ②22(※) ③7(※) ④-	① ワークショップ「書に親しもう!!」はじめての書道-かいてみよう!!」(米子市美術館・米子市児童文化センター連携事業) ②アートな散歩 中心市街地を巡る(米子市美術館・米子市立山陰歴史館・米子市公会堂連携事業) ③ぶらり淀江まち アートな散歩 郷土の彫刻家 入江甲と日吉神社秋の大祭(米子市美術館・上淀白鳳の丘展示館連携事業) ④特別共催展「佐藤健寿展 奇界/世界」、「MINIATURE LIFE展2 ～田中達也 見立ての世界～」及び特別企画展「米子の書 -先人と現代 書の祭典-」の開催中に、隣接している米子市立図書館に関連図書コーナーを設置し、市民により深く関心を持ってもらう連携事業を実施。(米子市美術館・米子市立図書館館連携事業)
美術館・カフェ連携事業	特別共催展・特別企画展等会期中	-	美術館展覧会開催に合わせ、隣接しているフルーツカフェサエキの協力により、コラボメニューなど考案。特別共催展「佐藤健寿展 奇界/世界」会期中はコラボメニューとして「奇界なパフェ」を、特別企画展「米子の書 -先人と現代書の祭典-」ではコラボメニュー「アールグレイなかき氷といきま書」をカフェにて販売。特別共催展「MINIATURE LIFE展2 ～田中達也 見立ての世界～」でも販売予定。SNSなどで配信し特別共催展・特別企画展をPR。
フレイル予防等推進事業	随 時	-	フレイル予防等を考慮し、アートな散歩などに関連して実施した。
博物館実習受入	随 時	-	1人受入(京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科4年生)
インターンシップ受入	随 時	-	2人受入(鳥取大学医学部生命科学科1年生、公立鳥取環境大学環境学部環境学科3年生)
職場体験学習受入	随 時	-	6人受入(米子市立湊山中学校2年生2人、米子市立後藤ヶ丘中学校2年生2人、米子北高等学校1年生2人)
「探求活動」受入	7/26(金)	-	5人受入(総合的な学習インタビュー活動「みらいチャレンジ」米子西高校2年生)
「総合学習」受入	9/19(木)	-	4人受入(総合学習インタビュー活動米子市立湊山中学校2年生)
特別観覧	12/6(金)	(3)	収蔵品特別観覧対応 (木山義喬《『漫画四人書生』原画》の一部、《ストライキ》、《婦人胸像》、《青年胸像》) 依頼者:ニコル・クーリッジ・ルマニエール氏(イギリス・アングリア大学教授、セインズベリー日本藝術研究所長) 解説:青戸館長、喜多村副館長兼主幹学芸員、前田学芸員、宇野事務員 場所:第5展示室
サポーター(ボランティア)	通 年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等 42回活動(第9期2年目・31人登録)
アンケート	通 年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、 貸館時は1階ホールに一般入館者を対象にしたアンケートと回収箱を設置した
レファレンスサービス	通 年	-	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに真摯に対応し情報提供

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
ホームページによる情報提供	通 年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随 時	-	X(旧Twitter)及びInstagramで展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通 年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通 年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通 年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随 時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
収蔵品の貸出等	随 時	-	鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展 ハチオシ！ (倉吉博物館)へ棟方志功《美の女神誕生の 柵》、浜口陽三《さくらんぼと青い鉢》、草間彌生 《ぶどう》、横尾忠則《INPRESSION OF TAHITI II-A タヒチの印象 II-A》、香田勝太《猫と芍薬》、 - 國頭繁次郎《古代の馬(C)》、笹鹿彪《西瓜売 り》、丹羽長兵衛《朝顔》、小谷良徳《ラッ・セ・ラ》、 金沢虹坡《初冬の大山》、岩宮武二《マヌカン (1)》、岩佐保雄《踏切を守る母子》、杵島隆《老婆 像》《基地 -ジルバー》、足立正太郎《初夏ノ婦人ト 子供》、森山美徳《潮風》、奥元次《こども(2)》、辻 晉堂《犬》計18点貸出 特別展「印賀鋼の故郷から 日本刀の美 ～森井 父子三人の仕事Ⅱ～(日南町美術館)へ」《短刀 伯耆国住吉幸》(米子市蔵/当館保管)貸出
収蔵品状況			洋画204点、日本画95点、素描294点、 彫刻35点、書11点、版画364点、写真841点、 工芸1点、資料78点 合計1,923点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通 年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
開館記念日イベント	6/17(土)	-	米子市展会期中の当日来館者193人に収蔵作品 ポストカードをプレゼント。
戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフの点検・ 清掃	7/4(木)	-	令和3年度に《喜怒哀楽の図》原型よりブロンズ鋳 造を行なった黒谷美術(株)によるメンテナンス作 業を行い、通常の点検・清掃作業手順の指導を 受けたことを基に、職場体験学習生とともに職員 で清掃作業を行なった。次回メンテナンス作業は 令和8年度実施予定。
年報発行	随 時	-	隔年報として令和5・6年度の2ヶ年分の美術館活 動報告をまとめる。本年度は発行準備年。
井上幸夫・英子コレクション点検等	6/18(火) 6/28(金) 9/17(火) 12/23(月) R7.3月中	-	7月1日(月)に井上コレクション(山陰伯耆国米子 アジア博物館に寄託されているアール・ヌー ヴォー期のガラス工芸作品)の公開開始。作品に ついて定期点検を実施。 - 随時、アジア博物館職員へ通常作品管理の助言 等も行なった。アジア博物館入場割引券を館内 に配架し誘客に協力した。
燻蒸		-	5年に1回全館の虫・カビの燻蒸作業をおこなう。 - 本年度は調査年度。前回実施が令和5年度。貸 館利用者にも生花の持ち込みを禁止とした。次回 は令和10年度実施予定。
令和6年度12月までの主催事業入場者数合計(人)		28,921	美術館外で実施したもの(※)及びギャラリートーク など入場者が重複しているもの()は除く
(前年同月実績)		8	26,042

②貸館事業 (令和6年12月末現在)

会 期	展 覧 会 名	展示 室	入場者数(人)		備 考
			小計	合計	
5/31～6/4	第30回チャーチル会・米子絵画小品展	1	—	1,158	
5/31～6/4	王希奇「一九四六」米子展	4	—	1,309	主催/王希奇「一九四六」米子展 実行委員会〔観覧有料〕
6/28～7/2	二科会写真部鳥取支部展	1	—	517	
7/5～7/9	足跡 奥田麻里子	1	442	792	
	第15回鳳水書院展	2	660		
7/4～7/9	押花・グラスアート展2024	3	—	343	主催/深田手芸編物教室
8/29～9/3	とりたん学習成果展示会2024	2	—	355	主催/鳥取短期大学
8/30～9/3	ニューヨーク シャドーボックス展	1	935	1,264	主催/アトリエ ラ ブラージュ
	鳥取県バリアフリー美術館 常設展示作品展示 MeetuP vol.03	3	410		主催/あいサポート・アートセンター
	鳥取県写真家連盟 第26回合同写真展	4	690		
9/6～9/10	第55回美術集団ゼム作品展	1	439	1,057	米子市秋の文化祭参加事業
	第39回米子写真倶楽部作品展	3	529		米子市秋の文化祭参加事業
	第65回チャーチル会米子作品展	4	767		米子市秋の文化祭参加事業
9/13～9/17	第44回フोटokラプビノキオ写真展	1	524	638	米子市秋の文化祭参加事業
	日本風景写真協会 鳥取支部写真展「四季彩々」	3	383		米子市秋の文化祭参加事業
9/20～9/24	第26回 透明水彩で描く水彩画作品展	1	713	860	米子市秋の文化祭参加事業
	第55回 写真集団ゼロ作品展	3	493		米子市秋の文化祭参加事業
9/27～10/1	第23回 鳥取県西部地区アンデパンダン絵画展	1	596	705	米子市秋の文化祭参加事業
	第78回 日本水彩画会 山陰支部展	3	366		米子市秋の文化祭参加事業
10/4～10/8	第6回 仁愛書院展	1	536	669	米子市秋の文化祭参加事業
	第2回 つきいちアトリエ絵画展	3	445		米子市秋の文化祭参加事業
10/25～10/29	イマージュガラス工芸教室 第36回「彩りの時間に」	1	1,228	1,689	米子市秋の文化祭参加事業
	第45回 龍心会書道展	3	520		米子市秋の文化祭参加事業
	第83回 米子美術家協会展	4	780		米子市秋の文化祭参加事業
	米子市文化協議会 鑑賞4団体紹介展	5	239		米子市秋の文化祭参加事業
11/1～11/5	第29回 米子市写真家協会展	1	951	2,325	米子市秋の文化祭参加事業
	第52回 米子墨彩会水墨画展	3	631		米子市秋の文化祭参加事業
	第16回たまいつかさアトリエkaの子どもたち ソウゾウのちから展	4	1,700		米子市秋の文化祭参加事業
	'24 山陰新協展	5	502		米子市秋の文化祭参加事業
11/7	(第41回 米子地区書道連盟展 受付)	5	—	42	米子市秋の文化祭参加事業
11/8～11/12	第41回 米子地区書道連盟展	3・4	—	533	米子市秋の文化祭参加事業
11/12	(第41回 米子地区書道連盟展 授賞式準備)	5	—	48	米子市秋の文化祭参加事業
11/15～11/19	第38回 米子工芸会展	1	484	549	米子市秋の文化祭参加事業
	第60回 米子かこう会作品展	5	217		米子市秋の文化祭参加事業
11/22～11/26	第43回 麗山書院展	1	681	2,070	米子市秋の文化祭参加事業
	第64回中展(生徒展・中学校美術教員作品展)	3・4	1,866		米子市秋の文化祭参加事業
11/29～12/3	第57回 麗人展	1	881	1,643	米子市秋の文化祭参加事業
	Mrs.Potato 第16回パッチワークキルト展	3・4	1,379		米子市秋の文化祭参加事業
12/6～12/10	令和6年度 シニア作品展	1・2	—	483	主催/鳥取県
12/7～12/16	第22回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)	3・4	—	3,513	主催/鳥取県 鳥取県教育委員会
12/13～12/17	伯耆書院展	1	843	982	
	ニット展 2024	2	466		主催/深田手芸編物教室
12/21～12/28 (～1/5)	令和6年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとっとり展	1～4	—	623	主催/鳥取県
貸館事業入場者数合計			利用件数 43件	24,167	利用料収入 1,844,356円

令和7年度 米子市美術館事業計画書

1 基本方針

- (1) 市民に親しまれる美術館をめざし、地域文化の創造に寄与する。
- (2) 市民の文化に対する知識及び教養の向上に資するよう努める。
- (3) 広く市民に美術作品等の発表の場を提供し、文化交流の発展に努め、美術館の利用促進を図る。
- (4) 様々な自主事業を展開し、地域社会の文化の核としての機能を充実させることにより市民と共存する美術館をめざす。
- (5) 市民ニーズに対応するための多様な情報を提供・発信する。
- (6) 長年の管理運営実績で培った適切な方法により、美術館を維持管理する。

2 重点施策

- (1) 芸術文化の鑑賞機会の提供
特別共催展〈1本〉、共催企画展〈1本〉、共催展〈4本〉、コレクション展〈2本〉を企画・開催し、芸術性の高い多彩な美術作品を紹介し、美術愛好者の拡大に努める。
- (2) 美術資料の収集・保管・調査研究
米子市美術館条例に則り、美術資料の収集・保管を行い、良好な状態で次世代に継承する。郷土作家の掘り起こしを中心に調査研究を継続し、米子を中心とした美術の発信地の役割を果たす。
- (3) 収蔵作品・資料データベース化
収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによるデータベース化をより一層図る。
- (4) 収蔵図書資料のデータベース化
図書管理システムにより、当館で収蔵している画集や美術展カタログ等新規追加分を含め図書資料のデータベース化を継続して行う。
- (5) 生涯学習活動とコミュニティ活動の支援
美術講演会やワークショップ等の教育普及活動を行い、幅広い市民を対象に積極的な参加型の生涯学習の場を提供する。
- (6) 市民の発表の場の提供
市展・県展・米子市秋の文化祭の運営に参画・協力し、作品の発表と鑑賞の機会を設け市民の美術振興に寄与し、また利用しやすいサービスを提供する。

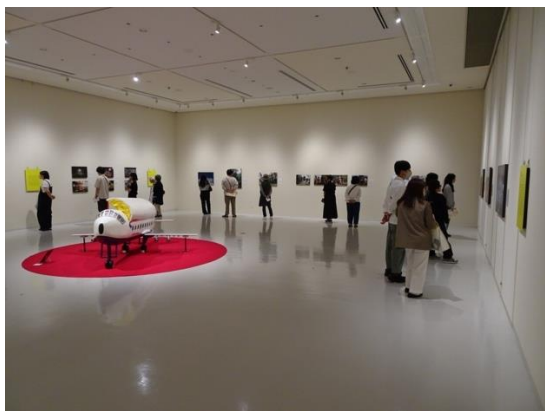
3 主要事業

事業名	内容・入場料・入場者数（見込）	実施期間	備考
管理運営等事業			
① 展覧会事業			
特別共催展 さくらももこ展	まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家と多くの顔を持ち、新しいキャラクターや作品を生み出し続けたアーティスト、さくらももこ先生。世代を超えて誰からも愛される国民的まんが『ちびまる子ちゃん』、大ベストセラーとなったデビューエッセイ『もものかんづめ』など数々の作品を創作。本展覧会では、代表作を直筆原稿やカラー原画とともに全7章・約300点のボリュームで紹介する。「描く」と「書く」ことを楽しむ一方で、季節のうつろいや小さな日常をこよなく愛した先生の、いまなお輝き続ける感性とその魅力に迫る。 入場有料 入場者見込数 20,000人	4/12(土)～5/26(月) [45日間/会期中無休]	第1～4展示室 (共催：新日本海新聞社)
共催展 「日韓美術交流展 同時開催- 日韓女流作家・森下朋美個 展」(仮称)	米子市と韓国・束草市は1995（平成7）年10月18日に姉妹都市提携をして今年で30周年。米子市・束草市姉妹都市提携30周年記念として、日本と韓国の画家の美術交流展を開催する。米子市を中心に鳥取県西部地区で活躍する作家と、日韓の架け橋となる女流作家・森下朋美氏を中心とする韓国の画家約40名の作品を一堂で紹介。 日韓の作風の共通点や相違点など見出しながら、様々な画風を楽しむとともに、美術において一層の交流を図る。 入場無料 入場者見込数 1,000人	6月27日（金）～7月1日 （火） [5日間/水曜休館]	第1・2展示室 (共催：日韓美術交流展実行委員会（仮）、朋美会（ブニミフェ）、韓日美術交流会）
共催展 木山義喬『漫画四人書生』原 画展（仮称）	「まんが王国鳥取」を提唱している鳥取県にはその先駆者として根雨出身の木山義喬（1885～1951）が1929年留学先のサンフランシスコで『漫画四人書生』を発行。これは漫画界でも大変貴重で注目を浴びている。本展は当館所蔵の《『漫画四人書生』原画》を広く周知してもらう機会とし、画力の優れた木山義喬の油彩・素描画も併せて展示する。本年は木山義喬生誕140年にあたる。 入場無料 入場者見込数 1,500人	6月28日（土）～7月13日 （日） [14日間/水曜休館]	第4展示室 (共催：鳥取県)
共催企画展 戦後80年 明日へ伝える昭和の戦争（仮 称）	アジア・太平洋戦争が終結して80周年を迎える2025年、米子市立山陰歴史館・米子市美術館が協働し、両館のコレクションと近隣他館の所蔵品を通じて、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らした展覧会を開催。 戦争の時代を生きたければならなかった作家たちの作品を通して、「戦争とはどのようなものなのか」「戦争が作家の創作活動にどのような影響を与えたのか」について改めて考える機会とする。 入場有料 入場者見込数 2,500人	7/20(日)～8/24(日) [31日間/水曜休館]	第1・2展示室 (共催：米子市立山陰歴史館)
共催展 日本顕微鏡学会「顕微鏡遺 産」 公式認定記念 松浦季恒展 「Life beside you」 ～終わりの中の始まり～	米子市児童文化センターに展示されている電子顕微鏡が令和6年「顕微鏡遺産」公式認定されたのを記念して、「電子顕微鏡のまち・米子市」の紹介と合わせて、松浦季恒氏のユニークで感性豊かなサイエンスアートの作品の山陰初の展覧会を開催する。「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会の運営に協力している、アーティスト松浦季恒（大阪府在住）氏は、自身で撮影した電子顕微鏡写真をサイエンスアートとして国内外で発表し、国際コンペや展覧会などで「新しい価値を生む芸術」として高い評価を得ている。 入場無料 入場者見込数 1,000人	7月26日（土）～8月10日 （日） [14日間/水曜休館]	第4展示室 (共催：「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会、米子市児童文化センター)
コレクション展 Ⅰ・Ⅱ	コレクション展は美術館活動の基本であり、広く市民に当館の活動及び収集方針に沿った展示を行い、市民の美術文化の向上に資する。Ⅰ期は新収蔵品を、Ⅱ期は版画をテーマに紹介する。会期中には対話鑑賞やワークショップも行い、より深く美術のことを知ってもらう契機とする。 入場有料 入場者見込数 2,000人	Ⅰ期 9/7（日）～ 10/5(日) [25日間/水曜休館] Ⅱ期 10/26（日）～ 11/30（日） [31日間/水曜休館]	第2展示室
第64回 米子市美術展覧会 （市展）	広く市民から美術作品を募り、発表と鑑賞の機会を設けることにより美術の振興に寄与する。 入場無料 入場者見込数：2,500人	6/13(金)～21(土) [9日間/会期中無休]	第1～5展示室

事業名	内容・入場料・入場者数（見込）	実施期間	備考
第69回 鳥取県美術展覧会 （県展）	広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することによって、創作活動の振興を図るとともに鑑賞の機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する。 入場無料 入場者見込数：3,000人	10/11(土)～19(日) [9日間/会期中無休]	第1～5展示室 （共催：鳥取県）
共催展 共に生きるアート展 KANSEI 12 ～障がいのある人たちが 創造するカタチ～	米子市内の障がい者施設に入通所されている障がいのある方の作品を展示する。 入場無料 入場者見込数：800人	9/30(火)～10/6(月) [6日間/水曜日休館]	第4展示室 （共催：米子市）
② 教育普及事業			
ミュージアムスクール	ワークショップ、アートな散歩（まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク）、上映会などを実施。 1) 美術上映会 2) 美術館・歴史館・児童文化センター連携事業「アートな散歩」 3) ワorkshop「ウォータレス・リトグラフ体験」（仮称） 4) 学芸員レクチャー「井上コレクションについて」（仮称）	1) 8月10日（日） 2) 10月13日（月・祝） 3) 10月～11月（予定） 4) 1月～3月（予定）	1) 第3展示室 2) 児童文化センター及びその周辺 3) 第5展示室 4) 山陰伯耆国米子アジア博物館
美術講演会	美術界等の第一線で活躍されている方に講演してもらい、広く美術の知識を深める機会を提供する。	共催企画展会期中	
ギャラリートーク （展示解説） 鑑賞会	コレクション展及び共催企画展等の展示解説を行い、展示作品の理解を深める機会を提供する。また未就学児と親のための鑑賞会（おやこでアートじかん）、認知症の方と家族・パートナーのための鑑賞会、対話鑑賞会など、あらゆる方の鑑賞の場を提供する。	コレクション展・共催企画展等会期中実施予定	
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業	米子高専と米子市文化財団との連携事業の一環。淀江文化センターとも連携しワークショップを中心に行う。	夏休み中で調整	米子市淀江文化センター
米子市文化財団施設連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル 2025	米子市文化財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施する。	10/4（土）	米子市淀江文化センター
米子市文化財団施設連携事業	米子市文化財団の管理・受託する全施設が連携して事業を実施する。 1) 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2025 2) 美術館・歴史館・児童文化センター連携事業「アートな散歩」※ミュージアムスクール 3) 美術館・米子市淀江文化センター連携事業「米子工業高等専門学校連携事業 ワorkshop」 4) 美術館・歴史館連携事業「明日へ伝える昭和の戦争」 5) 児童文化センター・美術館連携事業「KIKOH MATSUURA（松浦季恒）写真展」 6) 美術館・図書館連携事業 展覧会及び関連事業開催中に隣接している米子市立図書館に関連図書コーナーを設置し、市民により深く関心を持ってもらう。	1) 10/4（土） 2) 10/13（月・祝） 3) 夏休み中で調整 4) 7/20(日)～8/24(日) 5) 7月26日(土)～8月10日(日) 6) 特別共催展・共催企画展等会期中	1) 米子市淀江文化センター 2) 米子市児童文化センター周辺 3) 米子市淀江文化センター 4) 第1・2展示室 5) 第4展示室 6) 米子市立図書館
各種団体等との連携事業	鳥取県、鳥取県ミュージアム・ネットワーク、他の美術・博物館などの各種団体等と連携を取りながら芸術美術の振興に努める。	随時	
美術館・カフェ連携事業	美術館展覧会及び関連事業開催中に隣接しているフルーツカフェサエキの協力により、コラボメニューなど考案し、美術館・カフェともに市民により親しみ楽しんでもらうためにおこなう。	特別共催展・共催企画展等会期中	フルーツカフェサエキ内
博物館実習等の受入	大学・大学院生の学芸員資格取得のための実習の受入、市内中学校・高等学校の職場体験の受入、就業のためのインターンシップ等の受入を行う。	随時	

事業名	内容・入場料・入場者数（見込）	実施期間	備考
美術館サポーター	ボランティア組織作り及び研修等の指導を通し活動基盤を作ることにより、市民が主体的に美術館活動に関わる様々な機会を設ける。	通年	本年度は第10期1年目
出前講座	市内小・中・高等学校、公民館及び市内団体に向け、学芸員レクチャーや美術上映会、野外彫刻探検等を行う。	通年	
アンケート	自主事業来場者及び一般来場者に対し随時実施する。	通年	
ホームページによる情報提供	美術館の基本情報とともに最新情報、過去の実績など広く周知するために随時更新する。	通年	
SNSによる情報発信	展覧会やイベントの関連情報トピックをリアルタイムで発信する。	通年	
レファレンスサービス	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに真摯に対応し情報提供をする。	通年	
フレイル予防等推進事業	フレイル予防等を考慮し、対話鑑賞会（認知症の方と家族等のための鑑賞会）や、アートな散歩（まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク）などと関連して実施する。	通年	
③ 資料収集事業			
情報資料収集・保管・調査	基本的な収集方針に基づき、作品・資料等の収集を行い収蔵品の充実を図り、保管にあたる。また当館の重要な収蔵品のうち、特に緊急な修復を必要とする作品について計画的に調査点検し担当課と協議の上、実施する。	通年	
収蔵作品・資料のデータベース化	収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによりデータベース化する。	通年	
収蔵図書のデータベース化	収蔵画集や美術展図録等新規追加分を含めデータベース化する。	通年	
④ 貸館事業			
貸館事業	個人・団体への展示室貸出を行い、芸術文化活動の場を提供する。	通年	
⑤ その他事業			
図録等売捌	既刊展覧会図録や収蔵品目録、ポストカード、オリジナルグッズなどを販売する。	通年	
年報の発行	展覧会などの事業記録をまとめた年報を隔年発行する。本年度は令和5、6年度の実績をまとめて第3号として発行。	令和8年3月発行予定	
戸田海笛《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの 点検・清掃	令和3年度に専門家により通常の点検・清掃作業手順の指導を受けたことに基づき、野外彫刻の維持管理を行う。サポーターまたは実習生等とともに行う予定。	秋頃 令和8年度メンテナンス 作業実施予定	
開館記念日イベント	開館記念日に実施する。	6/17(火)	
刀剣手入	米子市所蔵及び寄託刀剣を手入れを年2回行う。	9月、3月	
井上幸夫・英子コレクション 点検・展示替等	山陰伯耆国 米子アジア博物館博物館に寄託・常設展示されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について点検及び展示替を行う。	随時	
燻蒸	5年に1回全館の虫・カビの燻蒸作業をおこなう。本年度は調査年。	令和10年度実施予定	

佐藤健寿展



市展



米子の書展



令和6年度 米子市美術館行事予定(案)

2024/2/2

[illegible]